

2019年度 KCN京都 放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2019年5月13日（月）10:00～12:20

2. 開催場所

京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ5F 小会議室『ポトマック』

3. 委員の出席：委員総数 7名 / 出席委員数 5名

<出席者名（敬称略）>

会長：渡辺好章

副委員長：大崎康弘

委員：高木健次、池井戸睦男、渡辺紀子（順不同）

KCN京都：今里英之（代表取締役社長）、岡田裕樹（常務取締役総務部長）、石庭優（経営企画部長）、
中島修（経営企画部課長）、加瀬由香利（経営企画部課長）

4. 報告

■ 協議事項

① 自主放送番組について

KCN京都自主制作番組である下記の2作品について意見を伺った。

(1) Step #3 池本風沙さん（2019年2月放送）

(2) お見事！やましろキラリと光る人・まち・技～「鍛冶屋・相楽木綿」（2019年3月放送）

作品：Step 「#3池本風沙さん」

- ・池本さん自身が何処の方なのか分からなかった。将来オリンピックに出るかもという夢のある話だが、地元の方である事を知らせる事によって視聴者は応援をしようと思うのではないか。個人情報取扱いが厳しい時代ではあるが、大まかな地域くらいは紹介しても良いのではないか。
- ・番組内に池本さんという名前（姓）が1度しか出てこなかった。応援をする際、下の名前（名）では応援しないのでしっかり名字を伝える必要があるのではないか。
- ・今回水泳を取り上げていたが他の種目で頑張っている人は多数いるので今後も情報収集し、色々な種目を紹介して欲しい。
- ・パラリンピックを目指す方も是非取り上げて欲しい。
- ・若いアスリートを紹介する際、水中映像を使用し映像にも工夫がみられ、水泳に向ける熱意が伝わる番組で良かったと思う。子供達にとっても、地域にこの様な人が居る事を知るきっかけになる良

い機会だと思う。

作品：お見事！やましろ～キラリと光る人・まち・技～「鍛冶屋・相楽木綿」

- ・途中カエルの作品が紹介されたが、それについては、さすが職人さんだなという印象を受けた。是非その他の作品も見てみたかった。ロケットストーブの仕組みを紹介していたが、説明不足の様な印象を受けた。番組として、結局何を伝えたかったのか？分からなかった。他のアート作品も紹介する構成であればアーティストとしての生き様とか、番組として訴え方が変わってきたのではないかと思う。
- ・相楽木綿は興味深く拝見した。忘れられた伝統として相楽木綿に特化してさらに掘り起していけばもっと良い番組になると思う。
- ・ロケットストーブは、結局一体何に使うものなのか？よくわからなかった。
- ・相楽木綿伝承館に行った事があるが、その際はその場で色々と説明を聞いても相楽木綿の凄さがあまり理解できなかったが、今回この番組をみて凄さがよく理解できる良い番組であった。
- ・伝承館でこの番組を流したら相楽木綿の凄さや作りなどがよくわかってよいのではないか。見せる価値はあると思う。

■ 報告事項

①2019年度自主制作番組企画について

2019年度のKCN京都ファミリーチャンネルの番組企画について説明を行なった。

以上